



中期経営ビジョン 2021 「金融×非金融×リレーション」でお客さまと地域を支援する



八十二銀行

八十二銀行中期経営ビジョン 2021

1

中期経営ビジョン2021 「金融×非金融×リレーション」でお客さまと地域を支援する

2021年8月1日に当行は創立90周年を迎えます。第十九銀行と六十三銀行の合併から今日に至るまでの間、バブル崩壊や護送船団方式の見直し、金融ビックバン、リーマンショック、マイナス金利等、数々の難局を乗り越えてきたことにより今の当行があります。

しかしながら、現在直面しているコロナ禍とデジタル化、気候変動問題は、金融・経済環境だけでなく社会の在り様までも変えてしまうほどの大きな影響をもたらしました。歴史をひもとくと、社会に構造的な変化が起こるときには、新たに生まれるものと無くなるものがあり、世界中の企業が今その局面に立たされています。

当行は、この時代の転換点を新たに飛躍・発展するチャンスと捉え、金融仲介を中心とした営業から、お客さまのニーズや社会的要請に対応した営業へと変革すべく、自らを進化させていきます。それはまさに私たち一人ひとりの意識・行動改革そのものであり「求められる人財像」の具現化にほかならないのです。

今般、私たちの目指す姿として「中期経営ビジョン2021」を策定しました。この難局を乗り越え、お客さまや地域社会を守り発展させていく新たな「八十二銀行グループ」への転身、そしてその先にある経営理念の実現に向け、グループ役職員全員で一歩一歩進んでいきましょう。

取締役頭取 松下 正樹

経営理念

健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する

中期経営ビジョン2021 「金融×非金融×リレーション」でお客さまと地域を支援する

求められる人財像

「強みの確立」 「進取の精神」 「自ら考え行動する」

概要

八十二銀行が目指す姿「中期経営ビジョン2021」を5つのテーマで示します

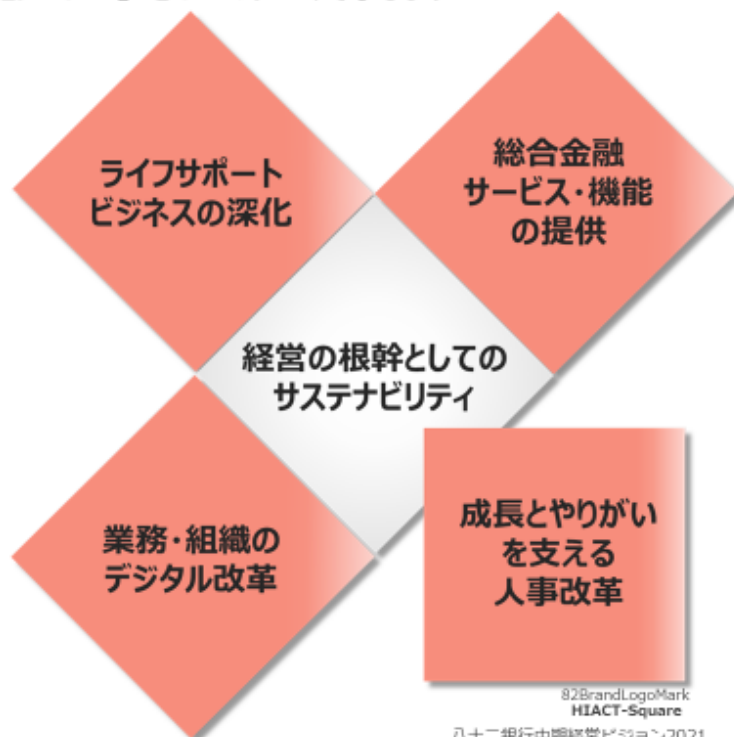
当行は「中期経営ビジョン2021『金融×非金融×リレーション』でお客さまと地域を支援する」を通じ、地域社会の発展に向けて取り組みます。

中期経営ビジョン2021は、当行がお客さまのニーズや社会環境の変化に対応し、ビジネスモデルを変革していく姿を5つのテーマで示します。

「ライフサポートビジネスの深化」と「総合金融サービス・機能の提供」では、金融サービスの高度化および非対面取引の機能拡充と、新たな非金融サービスの提供により、お客さまとのリレーションをさらに深めていく姿を示しています。

「業務・組織のデジタル改革」では、デジタル改革による業務・組織運営の効率化とデータ活用による新たなサービスの開発やビジネスモデルの構築に八十二銀行グループ全体で取り組む姿、「成長とやりがいを支える人事改革」では、職員それぞれのキャリア形成や働き方の変革を支援していく姿を示しています。

そして、「経営の根幹としてのサステナビリティ」では、リーディングバンクとして地域社会の持続的な発展に向け、地域の皆さまと共に課題解決に取り組む姿を示しています。



82BrandLogoMark
HIACT-Square
八十二銀行中期経営ビジョン2021 3

ライフサポートビジネスの深化

生涯取引銀行としてお客さまの暮らしをサポート

若者から高齢者までのお客さまに末永くお付き合いいただける生涯取引銀行として、ファイナンシャルアドバイザーによるご相談の強化、非対面取引の機能拡充、信託関連サービスの拡大に取り組みます。

金融サービスについて、ファイナンシャルアドバイザーがライフプランや相続などのご相談にワンストップで対応する「コンサルティングプラザ」の設置や、投資信託や住宅ローンのお手続きの「非対面化」により店舗を「お手続き」の場から「ご相談」の場へと変革します。また、八十二証券との共同店舗化や新設するアセットマネジメント会社による当行独自の投資信託商品の開発など、八十二銀行グループでサービスを高度化し、お客さまの資産運用・資産形成を支援します。

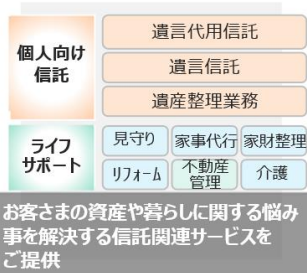
非金融サービスについて、「新スマホアプリ」では当行お取引先の情報やクーポンの配信など、便利でお得なサービスを提供します。また、「信託関連サービス」として、個人向け信託業務の拡大と、お客さまの住まいや暮らしに関する悩み事を解決するライフサポートサービスの提供により、高齢のお客さまとご家族に安心をお届けします。



非対面住宅ローン

- 事前に借入可能額がわかる
- 返済シミュレーションができる
- チャットやビデオ会議でご相談
- スマホで簡単にお手続き
- 住宅関連情報や業者様をご案内

より簡単に、いち早くご安心いただける非対面住宅ローンを開発



八十一銀行中期経営ビジョン 2021 6

成長とやりがいを支える人事改革

人事制度や働き方改革により職員一人ひとりの成長を支援

当行のお客さま対応をご相談や課題解決によるリリースョン重視へと変えていくことや、職員の価値観やライフスタイルの多様化に対応するため、人事改革に取り組みます。

業務の高度化・多様化に対応するため、営業業務職の廃止と専門性の強化を目指す**プロフェッショナルコース**等の新設により、適性や働き方に合わせてコース選択できる人事制度に改正します。また、職員の自発的な取組みに加えて、外部・グループ会社への出向やキャリアカウンセリングなどの取組みにより、職員一人ひとりの**キャリア形成**を支援します。

職員の価値観やライフスタイルの多様化への対応として、テレワークや時短勤務の拡大といった**働き方改革**を進めます。また、自宅通勤の希望をできるだけ尊重し、隔地勤務者には手当を支給します。

職員の多様化への対応として、ダイバーシティ推進室を設置し、女性登用の積極化や育休からの復帰支援、男性の育休取得の推進などにより、多様性のある職員それぞれが活躍する**ダイバーシティ&インクルージョン**を目指します。また、将来的な70歳までの雇用延長を見据え健康経営を宣言し、職員が健康で長く働くことができる職場づくりを目指します。



経営の根幹としてのサステナビリティ

地域活力創造銀行として地域社会の持続的な発展を支援

地域社会の持続的な発展には地域の産業振興・雇用創出・住みやすいまちづくり・豊かな自然環境などが必要です。地域におけるリーディングバンクである当行は、行政や企業、地域の皆さまと協力し、地域課題の解決に向けて主体的に取り組みます。

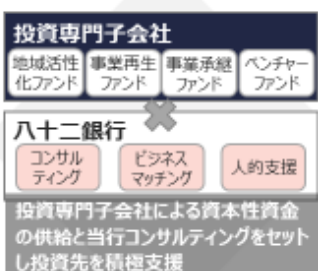
お客さまの温室効果ガス削減に向けた再生可能エネルギー・省エネルギー化設備投資などを積極的に支援するため**サステナブルファイナンス**を提供します。また、当行の温室効果ガス排出量「ネット・ゼロ」への対応や、電力の地産地消（地域内循環）を目指し、外部パートナーと共同で**グリーン電力**の発電や供給に挑戦します。

地域課題である観光地などの面的再生（地域をまるごと支援する取組み）や事業承継支援、コロナ禍により影響を受けた企業の事業再生など、**投資専門子会社**を通じた資本支援と総合的なコンサルティングにより金融×非金融での経営支援を強化します。

行政の産業振興・まちづくり戦略などとの連携を強化し、IT・観光・医療介護分野の支援、コンパクトシティや移住促進に向けたサービスの展開、地域商社事業による企業の海外販路開拓やプロモーション支援、地域価値向上に資する**店舗など不動産の有効活用**などに取り組みます。



サステナブルファイナンスの市場規模拡大に対応し、お客さまの省エネ・再生エネ投資を積極支援



中期経営目標

中期経営ビジョンの策定に合わせて、中期経営目標を設定

中期経営ビジョンの実現に向けた取組みにより、将来的に目指す経営目標として「中期経営目標」を掲げました。

※長野銀行との経営統合により一部目標を修正し、年間配当目標額を新設しております。（2023年8月25日）

※温室効果ガス排出量目標達成に伴い、新たな目標を設定いたしました。また、これに合わせて、融資先の温室効果ガス排出量算定促進および再生可能エネルギー創出目標を新設しております。（2024年10月25日）

「中期経営目標」

年間配当目標額	2023年度から2025年度まで毎年度 1株あたりの年間配当目標額20円以上
温室効果ガス排出量 (Scope 1、2)	八十二グループ 2025年度 ネットゼロ 2030年度 2019年度比80%削減
融資先の温室効果ガス排出量 算定促進 (Scope 3 カテゴリー15)	2025年度 排出量把握先 450社 Scope 3 カテゴリー15（2024年3月末基準）の40%に相当する 450社の排出量を把握
再生可能エネルギー創出	2024年度から2030年度 －事業用再生可能エネルギー発電設備向けサステナブルファイナンス 累計実行額 900億円 －ZEH水準及び太陽光発電設備付き住宅ローン・リフォームローン 累計実行件数 10,000件